

全国大会・硬式野球部県予選 壮行式 校長挨拶

一人ずつ話をします。

まず、全国高総文に参加する美術部の秋田さん。出品作品を見ました。EARTHと題された絵でした。深い青のキャンバスに多様性を思わせる思い思いの鮮やかなカラーズがあり、その中央で大きなキリンが悲しそうな目でたたずんでいました。秋田さんの豊かな感性と問題意識が見事に表現された作品でした。いつもクロッキー帳を持ち、自分のアイデアを書き出し、表現と向きあってきたあなただから描けた作品なのだと思います。全国の高校生の作品に触れて、沢山の刺激を受けて来てください。

放送部の小笠原さんは朗読での出場ですね。朗読は作品の一部を読むものです。何度もなにも作品を読み込み、登場人物の心情を理解し、様々な人のアドバイスも真摯に聞いて、自分なりの作品像をつくりあげたのだと思います。誰にも負けないような努力を重ねて、そして今この場所に立っているのだと思います。迷わず、自分の思い通りの朗読をしてきてください。

将棋の七木田君「思い切りいい、切り合う将棋」があなたの持ち味だと聞きました。30秒という時間の中で次の最善手を決める頭の回転がなければ、ここまで強い将棋は指せないのだと思います。瞬発力、集中力、思考力。多くの対局の中で、そしてAIを使った訓練の中で、誰よりも将棋に向き合いながら身につけてきた力ですね。1年生の時から何度も全国大会に出ていますが、それでもこれが高校時代の一つの区切りの大会です。頑張ってきてください。

野球部。3年生は1年の時から今まで、「先輩を勝たそう」とずっと頑張ってきたのだと思います。いよいよ自分たちが主役の大会です。自分のために、精一杯戦ってきてください。春に大会を見に行った時、球場の入り口青森東高校と書かれたいくつもの野球カバンが整然と並べられていることに感動しました。皆さんが3年間でつけてきた力は、単に野球の力だけではなくたはずです。大変だったと思いますが、そのことを誇りに思ってください。3年マネージャーの棟方君ベンチの中で優秀な働きで、選手達を支えてくれました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

それぞれの健闘を全校生徒、教職員で祈っています。